

福井県

福井県退職校長会

結成 昭和44年12月7日

〈現在までの歩み〉

1. 日本教育推進連盟福井県支部の時代（昭和44年度～昭和50年度）

昭和40年4月7日、日本教育推進連盟が結成されて各県に加盟の要請があり、有志が集い検討して昭和44年12月7日開催の総会で、本会の前身である日本教育推進連盟福井県支部が会員246名で発足した。会員は漸増し、昭和50年には338名に至った。

2. 福井県退職校長会、日本教育推進連盟・全国連合退職校長会福井県支部の時代

（昭和51年度～昭和61年度）

昭和51年6月26日開催の日本教育推進連盟福井県支部第8回定期総会で、福井県退職校長会の発足が決定され、全国連合退職校長会に正式加入した。本県の加入により、東海北陸ブロック協議会の7県がそろい、協議会が各県持ち回りで開催されることになった。

3. 福井県退職校長会の時代（昭和62年度～現在まで）

昭和62年5月27日開催の定期総会で、発足以来19年間加盟してきた日本教育推進連盟より離脱し、全国連合退職校長会に所属する団体のみとなることを決定した。（会員数523名）

平成3年5月に、本会の創立20周年を記念して、「創立20周年記念誌一会の歩み・一言集」を発刊。更に30年を経た平成13年12月に、「創立30周年記念誌一会の歩み・一言集」を、40年を経た平成23年12月には、「創立40周年記念誌一会の歩み・一言集」を発刊した。

〈組織・活動〉

本会の組織は、県本部と15地区の退職校長会から成り、本部役員として会長1、副会長4、常務理事1、常任理事18、地区理事37で構成。この内、会長・副会長・常務理事・常任理事で「常任理事会」を構成し、会務の立案や事務の執行に当たっている。会員名簿の作成、会報「碧窓」の年2回発行、会員への文書発送等が主な業務である。

総会は、拡大理事会（地区理事・常任理事）の審議を経て、毎年5月下旬に開催し、議事のほか上寿・米寿会員の顕彰を行い、総会後には研修を兼ねた講演会と懇親会を催して親睦を図っている。平成17年度からは、会員の更なる交流のために、1泊2日の県外研修旅行を毎年の恒例行事としている。全連退が進める「教育の日」についての研究を深めているが、気運は高まらず制定には至っていない。

本会の目的である本県教育の振興に寄与するために、平成25年度から県教育委員会と協議して、学校教育支援ボランティアを全会員に呼びかけている。現在のところ31名の会員がボランティア登録をして、学校の支援要請に備えているところである。



県外研修旅行にて